

川崎医療福祉大学 同窓会会報

vol.11
2007. September

Kawasaki University of Medical Welfare



CONTENTS

● **大学トピックス**

ホームカミングデー開催
2007・10・13(土)

第33回 川崎学園祭

2007
10・13(土)・14(日)

● **同窓生の声**

● **卒業生** **得** 情報コーナー

● 同窓会決算報告
● 同窓会支部の動き

「卒業後のつながりのためには」

川崎医療福祉大学 同窓会長 尾田 幸夫

同窓会会員のみなさん、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。大学を卒業後、各方面にてご活躍のことと思います。

同窓会が設立されて今年で13年目の年となりました。会員数は9,414名となり、第1期生の私は年齢が30才代半ばになりました。学生時代、30才を過ぎた人を見て、自分はどんな大人になるのだろうか、と考えたかどうかの記憶はさだかではありませんが、ここまでには様々な経験を通して確かに何かを身につけてきたと思います。そして、その経験をどこかで生かせることができればと考えます。

同窓会の存在意義は会員相互の「つながり」をとりもつことにあります。そして、今の同窓会の課題は会員同士のつながりを支援しきれていないことです。その原因は、大勢の会員が①何によって「つながり」を創ればいいのか見つけられないことです。そして、その作業を②誰が行っていくかということが挙げられます。

①の「何によって」ですが、各地にいる会員が足を運んで参加できる範囲で、また、参加してみたいと思える企画やイベントが必要です。私はやはり、世代を超えた会員同士が直接会える場がまず必要だと考えます。この事については、各地の支部活動が軌道にのれるような支援が必要です。

また、初めに書きました、私のような第1期生あたりの年代が自分の社会的経験やポジションを会員に向けて発揮できる場を同窓会が用意することだと考えます。例えば商売をされている会員が他の会員向けに割安にサービスを提供するから同窓会のホームページで宣伝したり、会員同士で団体旅行に出かけたりするなど・・・また、何かの専門家として活躍されている方に講演してもらいたい、来てもらいたいことがあって、そのような人が会員の中にいないか探すことがあったらいいなと思います。そして、在校生に対して先輩として就職先等のアドバイスや紹介が会員間でできるよう、同窓会として会員情報の整備を意識して行わなくてはなりません。

次に②の「誰が」以上のことに責任をもち、管理を行っていくか？ということですが。現在の活動である、1. 会報の発行、2. 会員のデータの収集と管理、3. 会費の徴収と管理という同窓会の土台はご存知の通りボランティアで運営しています。これらを正確に行っていく、プラスしての活動をどう実行に移していくかは、今後検討していかなくてはならない大きな課題です。

「こうなればいいな」と考えるこれからの同窓会事業が、会員のみなさんのニーズにあったもので、少しでもお役にたてるものであれば嬉しく思います。今後とも、みなさんからのご意見をお待ちしていますとともに、ご支援、ご協力をお願いいたします。

2007年度 川崎医療福祉大学 第33回川崎学園祭

テーマ『円(わ) ~ YOU & I ~』

今年の学園祭は、10月13日(土)・14日(日)、統一テーマは「円(わ) ~ YOU & I ~」。「円(わ)」というテーマは、社会生活における「環」また、身近な学園生活における「輪」というものをもう一度見つめ直して自分(I)と自分の周りの人たち(YOU)との繋がりの大切さを再認識しようという意味が込められています。10月13日(土)は、ホームカミングデイを同時開催です!!詳しくは、4pをご覧ください。

最近の医福大

川崎医療福祉大学 副学長 安藤 正人

卒業生の皆様、お久しぶりです。お元気ですか。

現在全国の大学は、少子化の影響を受け運営が困難を極めていますが、おかげさまで川崎医療福祉大学は、健全な活動を続けています。本学は、本年度に大学基準協会の認証評価を受けることもあり、FD活動の一環として、様々な新しい試みにチャレンジしています。それぞれの学科でも様々な新しい取り組みが行われていますが、最近私が直接かかわった取組みを二つ紹介させていただきます。

昨年度から、海外の大学での研修が活発に行われるようになりました。主な拠点は、オーストラリアのカソリック大学とカナダのヴィクトリア大学です。カソリック大学とは、インターネット回線を利用したライブ授業も、年に2回程度行っています。今年度からは、デンマークの日欧文化交流学園での研修もスタートします。オーストラリアやデンマークでは、主として専門科目の研修（保健看護、健康体育、医療福祉経営、医療秘書など）が行われ、カナダでは基礎教育科目の英語の研修が行われています。昨年度は、全体で80名余りの学生が、海外研修（2～3週間）に行きました。少し費用はかかりますが、それぞれに貴重な体験をしてきたようです。その影響でしょうか、大学が少し明るくなったように感じています。

今年度の秋学期からは、国家資格試験対策用のe-Learningのサイトがスタートします。過去の問題を登録しておいて、何度でも反復練習できるようにする計画です。とりあえず今年度は、医療福祉・感覚矯正・臨床栄養・医療情報の各学科に参加していただきましたが、将来的には希望に応じて、すべての学科に開放する予定です。ご希望があれば、卒業生の皆様にも開放する予定です。その際には、ホームページ等でご案内いたしますので、お待ちください。

大学は、それぞれの学生の人生において、貴重な一時期を友人たちと共有する場ですが、これからは、卒業後の皆様をも含めて、ネットワークを広げて行く必要があると思っています。ご活躍をお祈りいたします。

平成19年度 川崎医療福祉大学 公開講座

テーマ：みんなで考える明日の街づくり パートⅠ

サブテーマ：大学と地域の連携を探る

日時：平成19年9月1日(土) 13:00～15:30

場所等：川崎医療福祉大学 講義棟 4602教室〔定員250名〕

コーディネータ・司会・進行：本学 医療福祉学科 教授 高松屋 暢克

基調講演：本学 医療福祉デザイン学科 教授 大戸 寛

パネリスト：富山市 都市整備部次長・都市再生総室長 栗島 康夫

倉敷市 総合政策局長 末永 洋之

本学 医療福祉学科 教授 大田 晋

対象：一般市民

主催：川崎医療福祉大学

後援：岡山県、岡山県教育委員会、倉敷市、倉敷市教育委員会、社会福祉法人岡山県社会福祉協議会、社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会、山陽新聞社

協賛：まなびピア岡山2007

受講料：無料

申込方法：受講希望者は、ハガキに郵便番号・住所・氏名（フリガナ）・電話番号を記入のうえ、前日までに申し込んでください。なお、電話及びインターネット（川崎医療福祉大学ホームページ）による申し込みも受け付けます。

7月上旬頃より申し込みを受け付けます。

申込先：〒701-0193 倉敷市松島288

川崎医療福祉大学 公開講座係

電話 086-464-1021（直通）又は 086-462-1111（代表）内線54226（教務課）

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/>

その他：岡山県生涯学習大学連携講座（短期講座）

上記の講座は、終了しています。ご了承ください。

ホームカミングデイ開催!!

『ホームカミングデイ』のご案内

謹啓 秋暑厳しき候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび、学園祭にあわせて同窓生の皆様に母校へ帰還して頂くキャンペーンとして、下記のとおり『ホームカミングデイ』を行うこととなりました。同窓生相互の交流をこの機会に深めて頂ければと存じます。

なお、はがきでのご案内は、近県在住で同窓会費を納められている方に限定して送っております。インターネットでは全体にご案内しておりますので、皆様、お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。 謹白

— 記 —

日時：平成19年10月13日（土）*学園祭初日

第1部 10:00~17:00（途中からのご参加も大歓迎!）

場 所：川崎医療福祉大学 厚生棟 3階レストラン

内 容：ご自由にご観覧下さい。また、同窓生の皆様には特別に、金券配布や休憩ラウンジのサービスを予定。

参加費：無料

第2部 18:00~20:30

場 所：大学近辺の飲食店を予定。（参加人数によって変更）

参加費：事前申込の場合 4,000円

当日参加の場合 4,500円

以上

詳細は同窓会HPをご覧ください。 <http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/ds/>

<参加のご連絡・お問合せ先>

川崎医療福祉大学同窓会本部

E-mail：dosokai@mw.kawasaki-m.ac.jp

電話&FAX：086-462-8541 までお願いいたします。

川崎医療福祉大学第3期医療情報学科同窓会開催

<記>

■ 日 時 平成19年10月20日（土） 18:00 開始

■ 場 所 岡山駅下車（徒歩圏内）

【お問い合わせ先】

川崎医療福祉大学同窓会事務局

電話：086-462-8541 Eメール：dosokai@mw.kawasaki-m.ac.jp

医療情報学科3期

木村 義孝 連絡先 kim_gsx750f@ybb.ne.jp

宮原 冬佳 連絡先 f_miyahara_pr@yahoo.co.jp

医療福祉学科

■川崎医療福祉大学 保健・医療ソーシャルワーク研究会 第4回研究会

日時：2007年11月18日(日)
 13:30～受付
 14:00～15:50
 講演「保健・医療分野における実習のあり方(仮題)」
 15:50～16:00 医療福祉学科の最近の動向
 16:00～17:00 懇親会(ジュースとお菓子)
 コメント：昨年は諸般の事情で休会させていただきました。保健医療分野で働く方々を中心としたOB・OG会です。最新の情報を得るとともに、卒業年度を越えた交流を深めてください。
 連絡先：竹中麻由美(内線54514、54511)

臨床心理学科

■お知らせ

1. 活動報告

包括システムによる日本ロールシャッハ学会・地区研修会 2007年8月11日

2. 活動案内

- (1)包括システムによるロールシャッハ学習会
 毎年4月～10月の第4土曜日の午後(11月～3月は学外で開催)
 対象：臨床現場にいて、ロールシャッハに関心のある方
- (2)臨床事例研究会
 隔月に水曜日の午後7時～10時
 対象：臨床現場にいる、本学臨床心理学科の卒業生、院修了生
- (3)岡山心理学会第55回大会
 日時：2007年12月8日(土) 13:00～17:30
 懇親会 18:00～20:00
 場所：川崎医療福祉大学 祐宣記念講堂多目的ホール
 入会・参加の申し込み方法：本学科に学会事務局があるので、気軽にお問い合わせください。

感覚矯正学科

■感覚矯正学科視能矯正専攻同窓生の皆さんへ

臨床の場で疑問があったとき、どのようにされていますでしょうか？身近に相談できる視能訓練士がいない方は、大変苦勞されていると思います。そのようなときには、是非とも、中四国視能訓練士会に参加してみてください。臨床経験の豊富な方々や本学卒業生が多数参加し、とてもアットホームな雰囲気です。きっと、多くの疑問点が解決され新しい発見があると思います。

また、臨床を何年か経験されて研究に興味を持たれた方は、おられないでしょうか？本学には、大学院(修士課程・博士課程)が設置されており、これまでに感覚矯正学専攻として41人が修了しています。社会人を対象にした入試制度も設けられ、今まで臨床を中心にされていた方でも入学しやすくなりました。大学院に興味のある方は、大学のホームページを見られるかまたは入試課にお問い合わせみてください。

当視能矯正専攻では、本年度より岡 真由美准教授と前田史篤講師を迎え、専任教員は8人体制となりました。学生や大学院生の講義と実習が今まで以上に充実したものになるのではないかと感じています。先生方の豊富な知識と技術を少しでも自分のものになるようにしたいと思っています。

●中四国視能訓練士会 第14回勉強会

会期：2008年2月
 参加費：1,000円(会員) 2,000円(非会員)
 場所：川崎医療福祉大学
 連絡先：中四国視能訓練士会 第14回勉強会
 川崎医療福祉大学 感覚矯正学科 岡 真由美
 〒701-0193 岡山県倉敷市松島288
 Tel：086-462-1111(内線54632)
 Fax：086-463-1473
 E-mail：sensoryo@mw.kawasaki-m.ac.jp

●大学院入試案内

願書受付期間：平成20年2月4日(月)～2月15日(金)
 試験日：平成20年2月22日(金)
 合格発表日：平成20年2月28日(木)
 試験科目：修士課程(一般)：専門科目・英語・口述試験
 修士課程(社会人)：専門科目・口述試験
 博士課程：専門科目・英語・口述試験
 連絡先：入試課
 Tel：086-464-1004(直通)
 Fax：086-464-1057
 受付時間：平日9:00～16:00/土曜日9:00～12:00
 大学ホームページ
<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/index.html>

■第10回認知神経心理学研究会の開催

下記の要領で本年度の認知神経心理学研究会を開催いたしました。また、2009年には本学で言語聴覚学会が開催される予定です。

期日：2007年8月4日(土)、5日(日)
 場所：川崎医療福祉大学講義棟4602教室
 特別講演：

1. 視線、表情、意図に関する社会認知神経科学—神経心理学的観点から
 加藤元一郎(慶應義塾大学)
2. 遂行機能の認知神経心理学
 種村 純(川崎医療福祉大学)

リハビリテーション学科

■第9回 同窓会・懇親会のご案内

そろそろ海や山が恋しい季節のこの頃、先生方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、この度、下記の通り同窓会・懇親会を開催する運びとなりました。ご多忙かとは存じますが、何卒多数ご出席くださいますようお願い申し上げます。なお、ご出席の有無につきましては、e-mailにて平成19年7月31日(火)までにお願ひ致します。

日 時：平成19年9月8日(土)

受 付：18:30~19:00

懇 親 会：19:00~21:00

会 場：ホテルグランヴィア岡山

住 所：〒700-8515 岡山市駅元町1-5

電話番号：086-234-7000

会 費：5,000円(当日ご持参ください)

二次会も卒業期生に分かれて企画をしております。

参加される場合は、ご希望の卒業期生をお知らせください。

リハビリテーション学科 同窓会会長 杉本 努
副 会 長 石田 茂雄
事 務 局 森 明子

医療福祉マネジメント学科

■水野肇先生特別講義

日 時：平成19年11月14日(水) 14:25~15:55

会 場：川崎医療福祉大学 2601講義室

対 象：医療福祉マネジメント学科生、医療福祉マネジメント学部生、卒業生、その他

■お問い合わせ

詳しい内容につきましては、医療福祉マネジメント学科準備室

TEL：086-462-1111(内線54610)

FAX：086-464-1109他

デザイン学科

■お知らせ

1.「アート・プログラムin岡山市立市民病院」

会 期：平成19年10月29日(月)~11月23日(金)

会 場：岡山市立市民病院
〒700-8557 岡山市天瀬6-10
TEL 086-225-3171

内 容：学生が取り組んだ市民病院の誘導サインの改善案を展示予定

2.「アートの今・岡山2007」

会 期：平成19年10月31日(水)~11月11日(日)

会 場：岡山県天神山文化プラザ
〒700-0814 岡山市天神町8-54
TEL 086-226-5005

内 容：藤原洋次郎教授・青木陸祐准教授が作品出品。その後、高梁市歴史美術館(12月)、奈義町現代美術館(平成20年1月)を巡回

3.「ビジュアル系ポスター展」

会 期：平成20年1月29日(火)~2月3日(日)

会 場：岡山県天神山文化プラザ
〒700-0814 岡山市天神町8-54
TEL 086-226-5005

内 容：ビジュアル系卒業生1期生から在学生までが参加して開催

4. 第5回医療福祉環境デザイン学科卒業制作展

学内展

第1期：平成20年1月22日(火)~1月25日(金)

第2期：平成20年1月29日(火)~2月1日(金)

会 場：川崎医療福祉大学4階展示ホール

学外展

会 期：平成20年3月4日(火)~3月10日(月)

会 場：倉敷市立美術館
〒710-0046 倉敷市中央2-6-1
TEL 086-425-6034

内 容：平成19年度卒業生の卒業制作作品の展示

連絡先：川崎医療福祉大学 医療福祉デザイン学科 徳山 容(内線54900)

医療情報学科

■診療情報管理士認定試験(新カリキュラム)

日 時：平成20年2月17日(日) 9:00~17:00

会 場：全国15会場

連絡事項：受験を希望される方は、10月中旬までに受験の意思をご連絡ください。

連絡先：川崎医療福祉大学 医療情報学科準備室

TEL：086-462-1111(内線54310)

E-mail：info@mw.kawasaki-m.ac.jp

医療福祉マネジメント学科・医療情報学科

■診療情報管理士認定試験(旧カリキュラム)

日 時：平成19年9月23日(日) 9:15~15:40

会 場：川崎医療福祉大学

※旧カリキュラム課程での認定試験は本試験で最後です。

■診療情報管理勉強会(Chart Review トレーニング講座)

会 場：本学

内 容：本学OBを中心に、月1回の予定で実施しています。

7/29(日) 9:30~15:00

サマリーのコーディング問題を解く+解説

チャートレビューの個人トレーニング

チャートレビューのグループ討論+昼食

チャートレビューのグループ発表

病名のコーディング問題を解く+解説

8/19(日)

9/30(日)

以降の実施日は未定(随时お問い合わせください)

担当者：医療福祉マネジメント学部 医療秘書学科

寺延 美恵子

事務局：非常勤講師 渡邊 佳代

連絡先：川崎医療福祉大学 医療情報学科準備室

TEL：086-462-1111(内線54310)

E-mail：info@mw.kawasaki-m.ac.jp

掲載内容に既に終了しているものがあります。ご了承ください。

平成18年度川崎医療福祉大学同窓会 決算報告

<一般会計>

* 収 入

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差引過不足	備 考
前年度繰越金	16,155,025	16,155,025	0	中銀普通預金・郵便定額預金
同 窓 会 費 (H17年度卒業生)	13,905,000	8,445,000	△ 5,460,000	15,000円×563名(1～11期卒・大学院卒を含む)
預 金 利 息	0	7,996	7,996	中銀普通 3,570円 郵便局 4,426円
総合版名簿販売代金	0	3,000	3,000	3,000円×1枚
収入合計	30,060,025	24,611,021	△ 5,449,004	

* 支 出

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差引過不足	備 考
会計				
印 刷 費	10,000	26,460	△ 16,460	振込用紙印刷 5,000枚 (中銀用)
郵 送 費	50,000	0	50,000	
積 立 金	15,000,000	0	15,000,000	
①合 計	15,060,000	26,460	15,033,540	
事務局				
行 動 費	500,000	356,280	143,720	交通費・行動費等
会 議 費	50,000	45,000	5,000	会議用飲食代等
郵 送 費	10,000	9,220	780	
事務用品費	200,000	117,457	82,543	封筒・文房具・コピー用紙等
電 話 代	55,000	36,771	18,229	同窓会室用
人 件 費	700,000	628,250	71,750	
パソコン購入費	400,000	202,125	197,875	
支部活動援助費	1,000,000	86,200	913,800	案内郵送料・支部総会参加費
予 備 費	100,000	81,515	18,485	退任謝礼・親睦会・忘年会・見舞金・その他
②合 計	3,015,000	1,562,818	1,452,182	
渉外調査局				
名簿作成費	160,000	0	160,000	
名簿郵送費	160,000	0	160,000	
個人情報保護法対策費	100,000	88,200	11,800	調査ハガキ作成と目隠しシール各 8,400枚
③合 計	420,000	88,200	331,800	
企画局				
会報作成費	535,200	527,205	7,995	8,800部
会報郵送費	892,000	660,264	231,736	封入加工費を含む 8,266通 名誉教授・他同窓会宛
卒業記念品費	873,000	819,850	53,150	
ホームページ作成費	600,000	523,425	76,575	
④合 計	2,900,200	2,530,744	369,456	
支出合計 (①+②+③+④)	21,395,200	4,208,222	17,186,978	

* 繰越金

(単位：円)

項 目	決算額	備 考
郵便普通預金	6,411,807	
郵便振替口座	8,448,000	H17年度563名会費・名簿1枚販売代金
中国銀行普通預金	5,542,992	
繰越金合計	20,402,799	

<特別会計>

(単位：円)

項 目	収 入	支 出	決算額	備 考
積 立 金	30,012,017	0	30,012,017	中国銀行定期預金
利 息	6,003	0	6,003	利息
合 計	30,018,020	0	30,018,020	

会 計 か ら お 知 ら せ

同窓会の活動はみなさんの終身会費で運営されています。

卒業時に一度だけ、同窓会会費をお願いしています。現在未納の方には振込用紙を同封させていただきました。よろしくお祈りします。

渉外調査局からお知らせ

住所・氏名等変更のある方は同封ハガキにご記入のうえ同窓会まで郵送してください。メール・FAXも受け付けます。

平成19年度 川崎医療

担当学部・学科	テーマ及び内容	対象	定員	日時・場所
医療福祉学部 医療福祉学科	「地域における心のケアとチームアプローチ －職種による違いを実践から学ぶ－」	一般 専門家 学生 OB 高校生	約50名	9月29日(土) 13:30~15:30 4602講義室
医療福祉学部 臨床心理学科	「子どもの眠りと健康」	1回目: 養護教諭 小学校教員 2回目: 子育て中のパパ・ママ	7月21日 15名 7月27日 20名	7月21日(土) 13:00~16:00(12:30~受付) 臨床心理学科集団療法実習室 7月27日(金) 10:25~11:55(10:00~受付) 臨床心理学科集団療法実習室
医療福祉学部 保健看護学科	「看護の日－保健看護学科からの発信－」	一般 学生 保護者 卒業生	なし	5月26日(土) 14:00~16:00 2601講義室
医療技術学部 感覚矯正学科	「脳卒中に克つ」	一般 医療従事者 卒業生 学生	200~ 300名	9月30日(日) 10:30~15:30 2601講義室
医療技術学部 健康体育学科	「中高年のためのアクアエクササイズ －水と健康づくり－」	一般 指導者	各30名	前期:5/8,15,22,29 後期:10/9,16,23,30 (火曜日) 10:00~12:00 福祉大体育館プール
医療技術学部 臨床栄養学科	「安全で安心できる食事提供のための食品衛生管理」	卒業生 栄養士・管理栄養士等 関係者 一般	約250名	9月29日(土) 13:00~16:00 (12:30~受付) 3601講義室
医療技術学部 リハビリテーション学科	「在宅における介護予防セミナー」	一般	30名	8月18日(土) 9:00~15:00 6202講義室 リハビリ第3実習室
医療技術学部 臨床工学科	※大学授業開放講座 「医学概論」	高校生 学生	100名	6月16日(土) 10:00~12:00 6351講義室
医療福祉マネジメント学部 医療福祉経営学科 医療秘書学科	「キャリア・デザインと自己啓発」	高校生	40名	8月5日(日) 10:30~11:30 6101講義室
医療福祉マネジメント学部 医療福祉デザイン学科	「つくり・考える・ホタル －さまざまな造形への展開－」	高校生	40名	8月11日(土) 10:00~16:00 医療福祉デザイン学科実習室
医療福祉マネジメント学部 医療情報学科	「医療における情報技術(IT)の役割」	高校生 保護者	約40名	9月16日(日) 14:00~15:00 3105講義室

※お車で越しの場合は、駐車場について申込時に詳細をお尋ねください。 川崎医療福祉大学 〒701-0193 倉敷市松島288番地 (086) 462-1111 (代)

福祉大学公開セミナー

セミナー内容及び講師	参加費	連絡先	連携講座
シンポジウム形式 シンポジスト： 当事者：PSW・臨床心理士・精神科医等（学内関係者：予定）	無料	医療福祉学科 TEL 086-462-1111 内線 54514（田淵） FAX 086-464-1109 e-mail fukushi@mw.kawasaki-m.ac.jp	参加
7月21日 「子どもの眠りと健康 講座：新しいデータでワクワク授業」 講師：川崎医療福祉大学 臨床心理学 教授 保野 孝弘 ※7月21日分は定員に達しましたので、受付は終了いたします。 7月27日 「子育て心理学 カフェ：子どもの眠りと健康」 講師：川崎医療福祉大学 臨床心理学 教授 保野 孝弘	200円 （お茶代）	臨床心理学 TEL 086-462-1111 内線 54556（白神） FAX 086-464-1109 e-mail psycho@mw.kawasaki-m.ac.jp	参加
基調講演：癒しのこころを伝える「ケアの本質」 川崎医療福祉大学 学長 岡田 喜篤 講演：「医療福祉学を根拠にした看護ケア」 川崎医療福祉大学 保健看護学科 学科長 津島 ひろ江 卒業生の実践報告： 旭川荘療育センター療育園 看護師 仁宮 真紀 備前市役所 保健師 塩飽 順子	無料	保健看護学科 TEL 086-462-1111 内線 54903（森戸・難波・佐々木・高谷） FAX 086-464-1109	参加
「半側空間無視のリハビリテーション」 講師：川崎医療福祉大学 感覚矯正学科 教授 種村 純 「脳卒中の治療」 講師：川崎医科大学附属川崎病院 脳神経外科 部長 川崎医療福祉大学 感覚矯正学科 教授 国塩 勝三 「脳卒中のリハビリテーション」 講師：埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション科 教授 川崎医療福祉大学 感覚矯正学科 前教授 前島 伸一郎 司会：川崎医療福祉大学 感覚矯正学科 教授 岩村 吉晃	無料	感覚矯正学科 TEL 086-462-1111 内線 54904（山下） FAX 086-464-1109 e-mail sensory@mw.kawasaki-m.ac.jp	参加
温水プールでのアクアエクササイズ 川崎医療福祉大学 健康体育学科 教授 小野寺 昇	1回 500円	健康体育学科 TEL 086-462-1111 内線 54531（健康体育学科実習室）	参加
司会 川崎医療福祉大学 臨床栄養学科 学科長 中坊 幸弘 ①「食品の安全性に関する近年の傾向と展開」 川崎医療福祉大学 臨床栄養学科 教授 藤井 俊子 ②「薬剤耐性菌－黄色ブドウ球菌の逆襲」 川崎医療福祉大学 臨床栄養学科 教授 山田 作夫 ③「うどんのおいしさと健康」 川崎医療福祉大学 臨床栄養学科 教授 長野 隆男	無料	臨床栄養学科 （公開セミナー担当：武政睦子） TEL 086-462-1111（代） FAX 086-464-1109 e-mail rineisem@mw.kawasaki-m.ac.jp 申し込みはFAX、郵送またはe-mailで9月21日必着 （電話での申し込みはご遠慮願います。）	参加
「介護予防とリハビリテーション」 川崎医療福祉大学 リハビリテーション学科 講師 西本 哲也 「在宅におけるリハビリテーション基礎技術」 川崎医療福祉大学 リハビリテーション学科 学科長 渡邊 進 他 「在宅における介護と応用的リハビリテーション」 川崎医療福祉大学 リハビリテーション学科 講師 藤田 大介 他	無料	リハビリテーション学科 TEL 086-462-1111 内線 54832（能登・西本哲） 締切 8月16日（休）	参加
「医学概論 臨床における医師の活躍の成果」 川崎医療福祉大学 臨床工学科 教授 左利 厚生	無料	臨床工学科 TEL 086-462-1111 内線 54657（浜畑）	参加
「キャリア・デザインと自己啓発」 川崎医療福祉大学 医療秘書学科 教授 今林 宏典	無料	医療福祉マネジメント学部 医療秘書学科 TEL 086-462-1111 内線 54612（小池）・54948（寺延） FAX 086-464-1109 e-mail miekot@mw.kawasaki-m.ac.jp	参加
模擬講義「光の野生・ホテルの不思議な生態」 川崎医療福祉大学 医療福祉デザイン学科 教授 梶田 博司 ワークショップⅠ（導入実習）「心のホテルのデザイン」 川崎医療福祉大学 医療福祉デザイン学科 教授 田村 剛章 ワークショップⅡ ・版画 川崎医療福祉大学 教授 藤原 洋次郎・准教授 青木 陸祐 ・立体 川崎医療福祉大学 准教授 尾崎 公彦・教授 田村 剛章 ・デジタル 川崎医療福祉大学 講師 真鍋 克己・准教授 松本 正富	無料	医療福祉デザイン学科 TEL 086-462-1111 内線 54900（武田） FAX 086-463-3508 申し込みは、郵送かFAXで	参加
「医療における情報技術（IT）の役割」	無料	医療情報学科 TEL 086-462-1111 内線 54310（高見） FAX 086-464-0275 e-mail hinfo@mw.kawasaki-m.ac.jp 申し込みは、電話、FAXまたはe-mailで	参加

掲載内容に既に終了しているものがあります。ご了承ください。

川崎医療福祉大学を卒業された皆様へ 大学院修士課程でキャリアアップを！

★大学院医療福祉学専攻のご案内

○専門職としての問題解決能力の向上を

皆様は卒業後、様々な職場で職業人として、専門的な知識を蓄積し、専門的な技術を高め、援助活動等の効果を測定・評価する能力を養うことによって、専門職としての問題解決能力を高める努力をされてきたことと思います。しかし、今日、社会福祉・医療福祉の仕組みがめまぐるしく変化する中で、これまで蓄積されてきた実践を振り返り、理論化し、利用者に納得のいく説明をすることが難しいと感じられることもあるかと思えます。

ソーシャルワークの現場におきましても、エビデンス・ベースド・プラクティス（EBP：証拠に基づく実践）が求められています。実践の効果測定と評価の積み重ねによって得られる実績（エビデンス）を利用者に示すことが必要になってきています。大学院では、これまでの実践を理論化し、エビデンスを蓄積する場を提供できます。

○社会人入学制度と発達障害（TEACCH）コースの開設

平成19年度より、社会人の皆様が大学院で学ぶことができるようにと、大学院修士課程に社会人入学制度が設けられました。修士課程出願資格を有する「社会人」とは、平成20年4月1日に満24歳に達しており、各専攻の専門領域に関する2年以上の実務経験を有するものです。修士課程1期の試験は9月5日(水)に終了しましたが、修士課程2期の試験が、平成19年2月22日(木)に実施されます。「社会人」の試験科目は、筆記試験（専門科目）と口述試験です。詳しい内容は川崎医療福祉大学ホームページ（<http://www.kawasaki-m.ac.jp>）の「入試情報」をご覧ください。

また、平成19年度より、発達障害支援（TEACCH）の高度専門家を養成するコースを開設しました。詳しい内容は次の通りです。

★発達障害（TEACCH）コースにおける「TEACCHプログラム」のご案内

○大学院修士課程の中に発達障害(TEACCH)コースを設置

現在、自閉症等の人への支援に関しては、ノースカロライナ大学で開発されたTEACCHプログラムが、世界的にも高く評価されています。本学の佐々木正美教授は、早くからTEACCHプログラムに注目し、20年以上にわたって共同研究を行うとともに、これをわが国に紹介し、その普及に努めてきました。

今年の4月からは特別支援教育が導入され、自閉症を含む発達障害の人たちに適切な支援を提供できる専門的な機関の新增設を強く訴えられています。そこで、これら要望に応えるために、大学院修士課程（医療福祉学専攻）の中にTEACCHコースを設置し、平成19年4月に開講いたしました。

○TEACCHプログラムとは

TEACCHプログラムは技法ではありません。自閉症の正しい障害理解と自閉症児・者及びその家族に対する具体的な支援のあり方を示す思想であり、システムです。一人ひとりの自閉症児・者に対する具体的な支援は、決して画一的ではなく、常に、評価を通して一人ひとりを正しく理解した上で、その人に合った具体的なプランを策定し、それに基づいて支援が計画され実施されるというものです。TEACCHプログラムは一人ひとりの将来を展望した個別性の高いものだといえます。

○発達障害(TEACCH)コースでキャリアアップを

わが国の場合、TEACCHプログラムを実践している人たちは徐々に増加しており、その成果も確実に評価されています。しかし、それらの人たちは、個人的な偶然と努力によってTEACCHプログラムを学んだという場合が多く、また実践結果を適切に公開し、学術的に報告するという機会は多くありません。

本学は、全国の共同研究者の協力を得て広いネットワークを確立し、さらに実践的な教育および研究を進めるための拠点として機能することを目指しています。本コースにおいて、実践的な教育・研究を深められることを期待しております。

同窓会支部の動き

医療福祉学科支部よりお知らせ

医療福祉学科 4期生 一口 洋明

私も大学を卒業して、社会人になり9年が過ぎました。振り返ってみると、「無我夢中」の一言に尽きます。3年目位までは、右も左も分からないまま毎日が過ぎ、いつも先輩に注意を受けていました。在学中、私は学業よりアルバイトに力を注いでいました。そのため社会がどういうものなのか、私は知っているつもりでした。ところが、実際社会人になってみると、私が想像していたものと全く違っていました。「責任ある仕事をする」とは、綿密な準備と正確な判断そして力強い実践力が必要であり、とても難しいものです。私は自分の未熟さを痛感して、よく落ち込んでいました。5年程過ぎ、施設の全体的な業務が把握出来始めた頃から、「仕事の質」について考えるようになりました。「指示された仕事」だけではなく、「考える仕事」が増え始め、仕事の計画・準備・実践まで私に任せられるようになりました。「より良い仕事」をする為には信頼関係が築けていなければ、決して成り立ちません。また、利用者・その家族、そして職員（同僚・後輩・先輩）にどの程度自分が信頼されているか、とても大切になってきます。そして、自分が期待されるように

なると周囲から協力を得ることが出来てきます。仕事を成功させる為には、その協力は欠かすことの出来ないものです。つまり、周囲の人々の協力があるからこそ我々は「よりよい仕事」が出来るのです。

私が今まで仕事を辞めることなく続けることが出来たのは、多くの人々に支えてもらったからだと思います。特に大学の同級生・先輩の存在は大きいと思います。それぞれ職種は異なりますが、その施設や会社において似ているポジションに着いています。仕事が行き詰ったり、新しいこと（仕事など）を任せられた時には、お互い連絡を取り、アドバイスしたり、励まし合っています。これからも私はこの関係を大切にしていこうと思います。また、この関係を広げていけたらいいなと考えています。そのために私は、実習生・ボランティアの担当者をしています。そして、少しずつではありますが、仲間作りを頑張っています。今後も川福大の卒業生として役に立ちたいと思いますので、何かありましたら、ぜひ連絡下さい。皆で頑張っていきましょう。それでは私の好きな言葉で終わりたいと思います。

「Don't worry. Be Happy!!」

関東支部よりお知らせ

関東支部長 健康体育学科3期生 奥津 光晴

川崎医療福祉大学OB/OGの皆様、いかがお過ごしでしょうか？ご存知の方もいらっしゃると思いますが、川崎医療福祉大学同窓会関東支部が2003年度に発足致しました。対象は関東在住の川崎医療福祉大学卒業生全員です。いろいろな学年や学科の方々とあらためて知り合いになるよい機会かと思えます。

今年の支部会は11月頃を予定しております。詳細に

つきましてはハガキ、メール、ホームページ（同窓会本部：<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/ds/>）などにてご連絡致します。お誘い合わせの上、是非ご参加ください。ご意見、ご質問などございましたら、奥津光晴（bokuokutsu@yahoo.co.jp）までご連絡ください。

S T A F F

川上 紀子 (感覚矯正学科・1期生)
山本 珠美 (医療情報学科・3期生)
樫部 公一 (医療情報学科・7期生)
廣坂 徳通 (医療福祉学科・8期生)

編集後記

気がつけば9月です。今年度も会報をお届けすることができました。会長の挨拶にもありましたが、1期生は立派に中年街道を直進しております。子育てに追われている人々がたくさんいます。その年代を筆頭に結婚、出産と家庭に時間がとられるような世代になってきました。ボランティアで行っている同窓会ですが、実行委員の中にも夫や妻、父や母になった人がいます。それでも、がんばって同窓会活動に来てくださっています。

ありがとう。

そして、この会報はそんな実行委員会の仕事を同窓生のみなさまに確認していただけるものです。同窓生のみなさんがこの会報を手にとって懐かしく思ったり、うれしく思ったりしてくださる瞬間があるならば幸いです。

最後まで読んでくださって、ありがとうございます。

これからも会報で大学や同窓会の情報を同窓生のみなさんにお届けしたいと思います。また、同窓会を盛り上げていくためにも、ご意見・ご感想などあれば、是非、同窓会までお願いいたします。

川崎医療福祉大学同窓会

〒701-0193 岡山県倉敷市松島288

川崎医療福祉大学内同窓会事務局

tel.fax 086-462-8541 月・火・水 9:00~12:00

第2土曜日 14:00~16:00

上記以外の時間留守TELになります。

E-mail : dosokai@mw.kawasaki-m.ac.jp

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/ds>

編集・デザイン 広和印刷株式会社

〒700-0942 岡山市豊成3丁目18-7

tel. 086-264-5888 fax 086-262-1525

E-mail : info@kwp.co.jp URL : <http://www.kwp.co.jp>